



12月18日（火）竜野保育園で行われたマラソン大会で、力走する園児たち

うたごよみ 睦月

「短歌」

渡辺幸士 選

気が付けば周りの木々は色付きて季節の変わり
りしみじみ思う 緒方 明美
突然に孫夫婦来る嬉しさに次から次と話弾め
り 赤星 文子
校庭の楠と銀杏の共演のコントラストが秋空
に映ゆ 池田キヨ子
寒きなか凜と咲きいる水仙も小春日のなか眠
そうに見ゆ 内田乃武子
離れ住む娘から貰いし服の柄やや派手過ぎて
眺めるばかり 上村やす美
あれこれと変わる手口の振込みに気持ち迷わ
ず先ずは相談 吉永由紀子
同窓の仲良き友は去り逝きて遠き昔を偲び酒
酌む 白梅 武人
病床の夫に見せたし茜雲輝き増して朝日が上
る 塚原 暁益
首を挙げ猫が見ている晩秋の空にひとつのち
ぎれ雲浮く 渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美 選

やきもちが 成田離婚であらうかい 広田みどり
やきもちが 喧嘩の種の若夫婦 下山 千恵
やきもちが 妬やきたくなるねあの器量 志垣 光
やきもちが 明日どま修まると良エ 佐藤 葵
やきもちが 職場迄迎えに来らず 平井やよい
やきもちが 李り下の冠晴れたかい 長原 産賀
やきもちが 互いに若い証扱いたい 佐野しょう
やきもちが 浮気心の誘い水 光永 六
やきもちが 可愛いなアと抱き寄せる 井元あざみ
やきもちが 回りの人も火傷やけどさせ 日高 美里
やきもちが 妬やかれる内は良しとしよう 上田 梅清
やきもちが そぎやんもてんぞせからしか 日隈 元良
やきもちが 女性名刺は総おんなよ敵てき 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447（内線321）

ひとの動き (敬称略)

11月11日(日)~12月10日(月)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
西寒野	中島 奏大	男	浩 和
白旗	仁田水彩葉	女	元 希
田口	遠山 健	男	彰

marriage ご結婚おめでとう

	住所	氏名
夫	菊陽町	小崎 陽平
	田口	宮本 麻未
妻	船津	井元 康平
	船津	柿本 真樹
夫	岩下	松本 布洋
	長野県	西澤 里代

condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
坂谷	渡邊レイ子	80	精 一
豊内	井芹 富子	96	智 典
西寒野	井芹 静子	94	哲 夫
津志田	宮原 賢一	87	ヨシエ
安平	川田 春男	93	春 一
南三箇	堤 ハジメ	97	久 敏
仁田子	一村 次男	68	次 男
東寒野	松永コズエ	94	コズエ
船津	仲原モトメ	89	モトメ
岩下	太田 幸生	86	和 幸
下横田	松並 良子	86	良 典

data 甲佐町の人口・世帯数

項目	数	増減
男	5,057	△ 6
女	5,608	△ 6
計	10,665	△ 12
世帯数	4,267	△ 2

平成30年11月30日現在

こうさの野菜で作ってみよう!

しじみ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



胃腸回復さつま汁

ご存知ですか?

お正月にがつつい食べ過ぎでしまい「あ～疲れた!」と言った人はいませんか。

ご馳走攻めで胃腸を急に動かせたうえに動かせはなしだから、内臓を疲れさせしてしまうのです。こんな時は体と一緒に疲れた時は休ませましょう。

あとは当たり前のことですが、消化の良いものをよく噛んで食べることです。回復するまでは甘いものはチョット我慢しましょうね。



作り方

- ①鶏肉、ダイコン、サトイモ、ニンジン、コンニャク、干しシイタケは1.5割角に切る。
 - ②ゴボウは1割のブツ切りにし、サッと水をくぐらせておく。
 - ③油揚げは2割位の短冊切り。
 - ④ネギは薬味用です。
 - ⑤鍋に水、だしの素、野菜を入れ火にかけます。
 - ⑥沸とうしたら鶏肉を全体に散らすように加え、中火より少し火を小さくし蓋をして15分ほど煮ます。
 - ⑦野菜が煮え肉に火が通ったら、麦みそを溶き入れます。ひとふきしたら火を止めます。
 - ⑧大きめの器にたっぷりよそしたらネギを散らしましょう。
- ※みそは麦みそに限りません。いつものみそをお使いください。

材料

鶏モモ肉	150g
ダイコン	100g
サトイモ	100g
コンニャク	100g
ゴボウ	1/2本
ニンジン	小1本
干しシイタケ	2枚
油揚げ	2枚
ネギ	少し
麦みそ	大さじ5
だしの素	1袋
水	4カップ

旧西村民俗資料館の改修工事が現在行われていますが、月号でもご紹介しているとおり、11月から古民家改修のワークショップが開催されています。12月8日(土)・9日(日)のワークショップでは、大工さんや左官さんなどの専門家に丁寧に教えてもらいながら、土壁を作る作業が行われていました。古い畳から取り出したわらや崩れた土壁を再利用して、赤土や水などと混ぜていくことで、新たな土壁へと生まれ変わります。長年にわたり古いものを大切にしてきた日本の暮らしを感じました。参加した皆さんは、円陣を組んで楽しそうに足踏みして材料を混ぜていました。ワークショップは1月と2月にも開催されます。見学だけでも可能ですので、古民家が生まれ変わっていく様子を、肌で感じてみませんか。(り)

編集後記